

不登校児童生徒の 保護者のための 支援ガイド



まずは相談してみませんか



学校



スクールカウンセラー



教育支援センター



子どもたちへの
支援の環



児童相談所

関係機関



スクールソーシャルワーカー



24時間
子供SOSダイヤル

石川県教育委員会

1. 子どもの理解



どうして学校へ行けなくなるのでしょうか？

- ・人間関係での悩みや、身体の不調、生活リズムの乱れなど、学校に行けなくなるきっかけは多岐にわたります。最初に学校に行きづらいと感じ始めたきっかけが「自分でもよく分からない」とする子どもも2割以上います。
- ・取り巻く環境によって、どの子どもにも起こりうるものであり、決して「問題行動」ではありません。

2. 支援の視点



大人たちが支援の視点を理解し、一緒に考えましょう。

- ・子どもによっては、学校を休んでいる時期が、心身の休養や自分を見つめ直す機会として積極的な意味をもつことがあります。
- ・支援は、「学校に登校する」という結果だけを目指すものではありません。子どもが自分の進路を主体的に捉えて、社会的自立を目指すことが重要です。
- ・学校に行けない子どもは、「行きたくても行けない」現状に苦しみ、繊細な気持ちになっている場合があるため、学校・家庭・社会が寄り添い、共感したり、受け入れたりすることが、子どもの自己肯定感を高めるためにも大切です。
- ・学校に行けない子どもへの支援として、スクールカウンセラー(SC)やスクールソーシャルワーカー(SSW)などに相談することができます。また、学校に行くことが難しい場合に、教育支援センター(適応指導教室)や民間の団体(フリースクール等)に行っている子どももいます。

一人一人が個性を生かしながら社会へ参加できるよう、充実した人生を過ごせるよう道筋を築いていくための生き方支援が大切です。

保護者の皆様にお伝えしたいこと



「学校に行けない子どもへの対応について」

学校に行けなくなる要因には、大きく分けて、①対人不安・集団不安、②エネルギーの低下の2つがあります。中には、人と接するだけでも疲れてしまう子もいます。エネルギー回復のために、まずは、ゆっくりと休むことが必要です。対人不安・集団不安があまり見られない場合は、エネルギーの回復とともに改善する傾向にあります。

エネルギーが低下しているときには、日常の声かけに努め、返事は求めないようにしましょう。そして、自分のペースで過ごさせてあげましょう。本人を問い詰めても、改善にはつながりません。無理に連れ出そうとするのは、むしろ逆効果となることが多いです。

回復には、安心・安全な環境、理解してくれる人の存在が必要です。安心・安全な環境とは、子ども自身が「安心・安全だ」と感じられる環境です。最初は、本人のペースで過ごさせましょう。ご自宅の居心地が良すぎるからといって、学校に行けない状況が長引くことはありません。

【石川県こころの健康センター所長 角田雅彦氏】

「学校に行けない子どもとの関わり方」

子どもが好きなこと、やりたいことを見つける手助けをしてあげましょう。

学校以外の居場所を大切に、確保してあげましょう。

ゲームやスマホを安易に取り上げるのは、逆効果となることがあります。

なにより子どもの心の内を理解し、心の声を聴こうとする姿勢が大切です。

親の期待や理想、満たされなかった願いが子どもへのお仕着せになることは良くありません。

登校よりも社会的自立を大事にしましょう。

一度不登校になったからといって、人生がだめになるわけではありません。

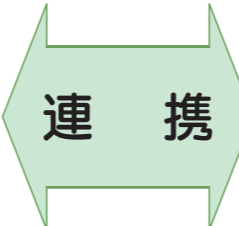
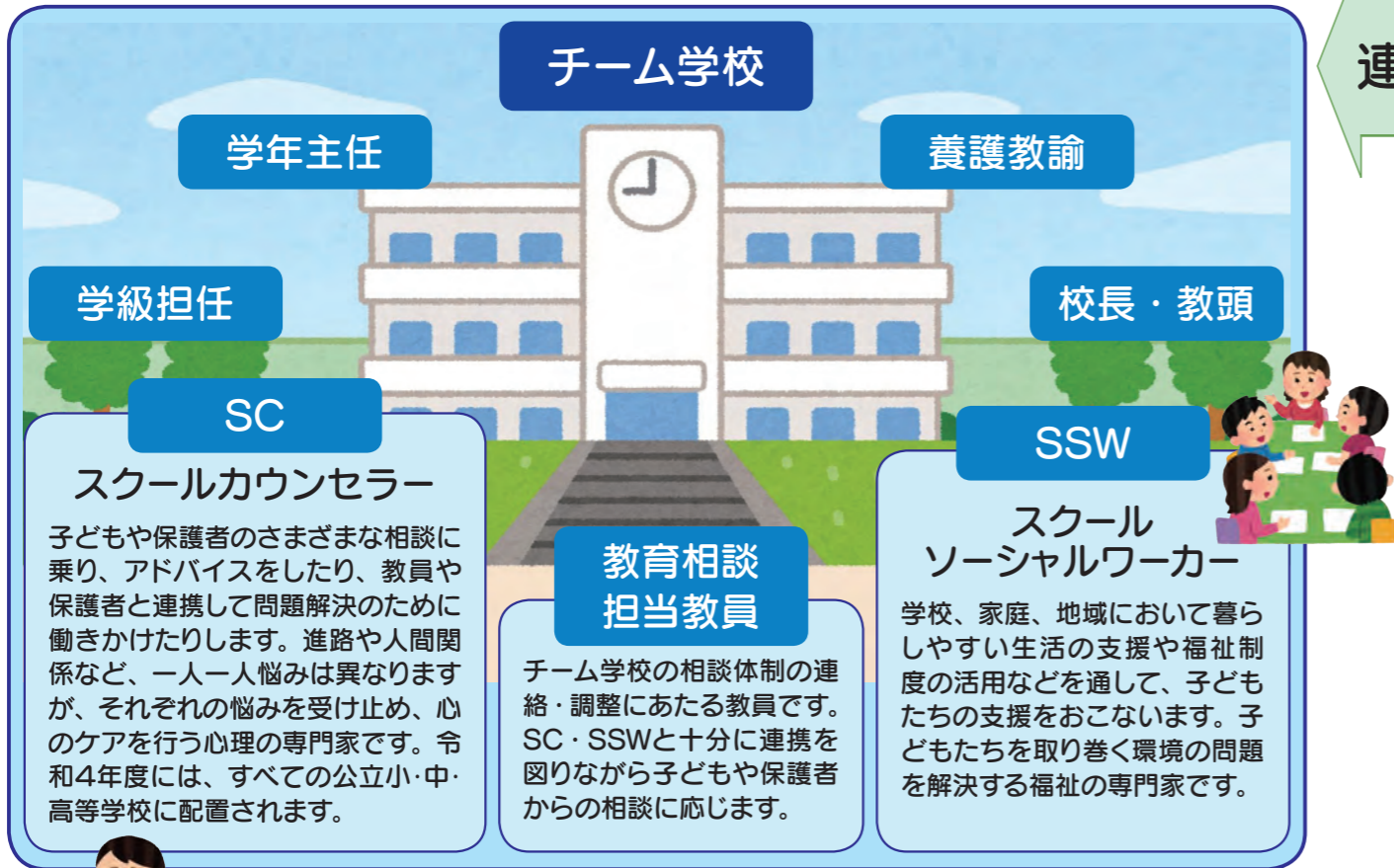
社会的自立につながるために何ができるかを考えましょう。

【スクールカウンセラー(金沢大学准教授) 原田克巳氏】

専門家も含めて、いろいろな人の力を借りましょう。誰かとの対話を「変化のチャンス」と捉えましょう。

3. 教育相談体制

遅刻や欠席が増えてきたり、学校に行けなくなったりした場合には、**まずは学校にご相談ください**。学校では、学級担任だけでなく、学年主任、教育相談担当教員が窓口となり、管理職、養護教諭などと連携して対応します。さらに、スクールカウンセラー(SC)やスクールソーシャルワーカー(SSW)などの専門家にも相談できます。



教育支援センター

子どもたちの社会的自立に向けた力を高めていくために、教育委員会が設置する施設です。詳細については、次ページをご覧ください。

「学校に行けない子どもについて考える保護者の会」

「子どもにどう接したらいいかわからない」「このまま学校に行けなかったら進学や就職はどうなるのだろう」など、それぞれの悩みや不安に応じて見通しが立てられるよう、ともに相談し合える会を令和3年度に試行的に開催しました。令和4年度以降は、保護者の会を本格的に開催していきます。保護者どうしの懇談会には、スクールカウンセラーも参加し、専門的なアドバイスを得ることができました。参加した保護者からは、「同じ悩みを持つ保護者の方と話せたことが一番良かった」「学校の先生ともまた相談したいと思います」などの声が聞かれました。なお、各市町でも、保護者の会を行っているところがあります。

24時間 子供SOSダイヤル

0120-0-78310
076-298-1699

いじめや不登校など、児童生徒が発するSOS全般を受け止める夜間・休日を含む24時間体制の窓口です。

関係機関 (医療・福祉・児童相談所等)

連携

パトリ		フリースクール リスタ金沢	
連絡先	076-220-7900 info@patori.jp	連絡先	080-2265-6318 restarkanazawa@gmail.com
所在地	金沢市保古1-36	所在地	金沢市福増町南1221番地 福増苑内 地域交流スペース
フリースクール カラーフル金沢		LYHTY school IRORI(リユフトスクール イロリ)	
連絡先	076-254-1230 freeschool@colorful-kanazawa.com	連絡先	076-254-5032 info@irori.lyhty.or.jp
所在地	金沢市本町2丁目7番1号 越田ビル2階	所在地	金沢市山の上町 26-52
フリースクール ひだまり		NPO法人 ワンネススクール	
連絡先	090-8098-8031 hidamari.fs@gmail.com	連絡先	076-259-5359 info@oneness-school.org
所在地	小松市荒屋町丁82-4	所在地	【金沢校舎/ふらっとホーム】金沢市久安5丁目8 【鳥越校舎】白山市別宮町口8

令和2年度問題行動等調査をもとに、児童生徒が通所した施設を掲載しています。

児童相談所

18歳未満の子どもたちの心やからだのこと、家庭や学校での問題などについて、子ども本人や家族・学校の先生・地域の方々等からの相談を受け付け、子どもが明るく健やかに成長していけるようお手伝いをする相談機関です。児童相談所は県内に3ヶ所あります。

石川県中央児童相談所	
所在地	金沢市本多町3-1-10
電話	076-223-9553
対象地域	かほく市以南(金沢市除く)
石川県七尾児童相談所	
所在地	七尾市古府町そ部8-1
電話	0767-53-0811
対象地域	宝達志水町以北
こども相談センター (金沢市児童相談所)	
所在地	金沢市富樫3-10-1
電話	076-243-4158 (平日 9:00~17:45)
対象地域	金沢市

石川県こころの健康センター

- 対人関係や性格の悩み
- ストレスによる心身の不調
- 学校、家庭内で起こる心の問題
- ひきこもりの悩み

など、幅広くこころの問題に関する面接相談や電話相談を行っています。
※面談相談は予約制です。
お問い合わせ窓口(076-238-5750)

金沢法務少年支援センター (金沢少年鑑別所)

思春期の子どもたちの行動理解等に関する知識・ノウハウを活用して、

- 子どもの能力や性格の調査
- 子どもや保護者に対する心理相談

など青少年の健全育成に関する活動を支援しています。
お問い合わせ窓口(076-222-4542)

若者サポートステーション石川

仕事をしていない方で、働くことに対して不安や悩みを抱えている15歳から49歳までの方とその家族を対象に、働くための準備を支援します。「どんな仕事をすればいいかわからない」という方の話をお聞きし、自ら進む方向を決めていくサポートをします。
※当施設は予約制です。
お問い合わせ窓口(076-235-3060)

4. 教育支援センター

登校できなくなった子どもたちのために、心が安定する居場所づくりと、体験活動や学力の補充を通じて学校復帰への支援をはじめとする自立支援を行っています。

ここ数年の傾向では、県内の教育支援センターの通室生のうち約6割の子どもたちが学校に復帰しています。

県立の教育支援センターである「やすらぎ教室」には、相談員・指導員やSSWのほか、令和4年度よりSCを新たに配置し、相談体制を強化しました。様々なご相談に対応できますので、ぜひご相談ください。

高校生A君のやすらぎ教室での過ごし方【基本的な日課】

やすらぎ教室では、その日のスケジュールを決めた後、学習、体験活動、レクレーションをして過ごします。

過ごす時間は、その日の体調などによって決めています。午前だけあるいは午前から午後まで過ごす場合もあります。

1 スケジュール決め

まずは日誌を使って、1日のスケジュールを決めます。昨日の活動を振り返り、今日の気持ちを考えながら、スタッフと相談して1日の過ごし方を決めていきます。

2 学習

国語、数学、英語、世界史、中学校のワーク(5教科)など、自分が希望する学習ができます。高校の授業と同じように、50分を1時限として、午前2時限と午後1時限のように学習しています。

3 体験活動

やすらぎ教室では勉強以外にも、体験的な活動をすることができます。スタッフの方と一緒に鉢植えやプランターの花の水やり、野菜の種まき・水やりをします。花が咲いたり野菜を収穫したりといった楽しみや達成感を味わうことができます。

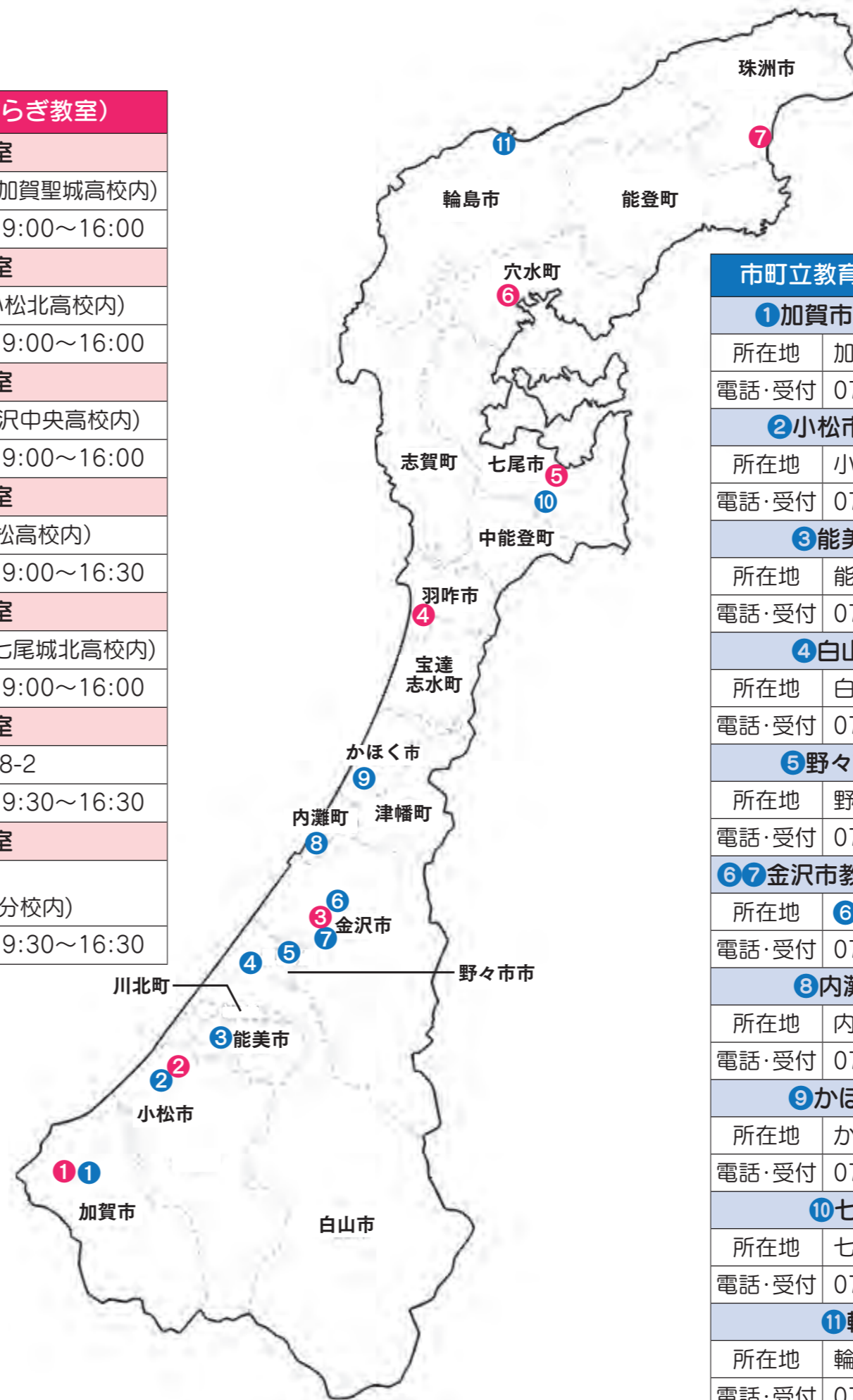
その他にも、調理実習や周辺散策などもできます。

県立教育支援センター(やすらぎ教室)	
①やすらぎ加賀教室	
所在地	加賀市大聖寺馬場町28(加賀聖城高校内)
電話・受付	0761-72-3220 平日 9:00~16:00
②やすらぎ小松教室	
所在地	小松市島田町イ85-1(小松北高校内)
電話・受付	0761-23-6669 平日 9:00~16:00
③やすらぎ金沢教室	
所在地	金沢市泉本町6-105(金沢中央高校内)
電話・受付	076-243-1612 平日 9:00~16:00
④やすらぎ羽咋教室	
所在地	羽咋市吉崎町ラ1-2(羽松高校内)
電話・受付	0767-22-0345 平日 9:00~16:30
⑤やすらぎ七尾教室	
所在地	七尾市西藤橋町工1-1(七尾城北高校内)
電話・受付	0767-53-2296 平日 9:00~16:00
⑥やすらぎ穴水教室	
所在地	鳳珠郡穴水町字大町リ78-2
電話・受付	0768-52-2258 平日 9:30~16:30
⑦やすらぎ能登教室	
所在地	珠洲市宝立町鶴飼6-20 (七尾特別支援学校珠洲分校内)
電話・受付	0768-84-1014 平日 9:30~16:30

4 レクリエーション

学習後には、読書、ジグソーパズル、塗り絵、描画、折り紙、ペーパークラフト、切り紙、ゲーム、楽器演奏、卓球など、好きな活動ができます。

通室生が複数いる場合は、スタッフや他の通室生と一緒に楽しむこともあります。



お住まいの市町に教育支援センターがない場合は、最寄りの県立教育支援センター(やすらぎ教室)にお問い合わせください。

市町立教育支援センター等(小・中学生対象)	
①加賀市教育総合支援センター・のぞみ	
所在地	加賀市大聖寺東町2-3-1
電話・受付	0761-73-0118 平日 8:30~17:30
②小松市教育研究センター・ふれあい	
所在地	小松市小馬出町1
電話・受付	0761-24-8124 平日 9:00~17:00
③能美市教育センター・ふれあい	
所在地	能美市秋常町子115
電話・受付	0761-58-7867 平日 9:00~17:00
④白山市教育センター・ふれあい	
所在地	白山市古城町2
電話・受付	076-275-7566 平日 8:30~17:00
⑤野々市市教育センター・ふれあい	
所在地	野々市市本町4-21-27
電話・受付	076-248-8456 平日 9:00~17:00
⑥⑦金沢市教育プラザ学校教育センター・そだち	
所在地	⑥金沢市富樫3-10-1 ⑦金沢市此花町2-7
電話・受付	076-243-0874 平日 9:00~17:45
⑧内灘町教育センター・ステップ	
所在地	内灘町鶴ヶ丘5-1-337
電話・受付	076-286-5481 平日 9:00~16:00
⑨かほく市教育センター・すまいる	
所在地	かほく市宇野気二110-1
電話・受付	076-283-7170 平日 9:00~17:00
⑩七尾市教育研究所・わかたけ	
所在地	七尾市八幡町二4
電話・受付	0767-57-5671 平日 9:00~16:00
⑪輪島市教育研究所・あゆみ	
所在地	輪島市堀町1-14
電話・受付	0768-23-1172 平日 9:00~16:00

その子らしく
穏やかに
幸せに

※掲載されている情報は、各支援機関・団体等から提供された令和4年2月現在のものです。
最新情報については、各支援機関等に直接お問い合わせください。

石川県教育委員会事務局学校指導課
〒920-8575 金沢市鞍月1丁目1番地